

平成26年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本プロセス株式会社
 コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 上石 芳昭
 (氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第1四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第1四半期	1,095	△0.9	△7	—	2	—	△3	—
25年5月期第1四半期	1,104	5.8	△13	—	△3	—	△4	—

(注) 包括利益 26年5月期第1四半期 △4百万円 (—%) 25年5月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第1四半期	△0.65	—
25年5月期第1四半期	△0.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第1四半期	8,701	8,046	92.5
25年5月期	9,139	8,133	89.0

(参考) 自己資本 26年5月期第1四半期 8,046百万円 25年5月期 8,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	—	—	—	—
26年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△3.8	35	△63.2	50	△56.5	25	△55.6	4.51
通期	5,300	1.3	340	7.4	385	5.0	215	3.1	38.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期1Q	5,745,184 株	25年5月期	5,745,184 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期1Q	200,092 株	25年5月期	200,092 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期1Q	5,545,092 株	25年5月期1Q	5,545,092 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出は持ち直しの動きがみられ生産も緩やかに増加しております。また、政府による「金融緩和」、「財政出動」、「成長戦略」の各政策により、円安や株高基調が継続し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど自律的回復に向けた動きがみえております。

情報サービス産業におきましては、ソフトウェア投資は概ね横ばいとなっておりますが、受注環境においては案件が増えてきており回復の兆しが見えつつあります。

こうした環境の中、当第1四半期連結累計期間において、当社は、得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野、新規顧客を発掘することや、前期より継続してソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることで顧客に最大のメリットを提供すること、などに注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,095百万円（前年同期比0.9%減）、営業損失は7百万円（前年同期比45.1%減）、経常利益は2百万円（前年同期3百万円の損失）、四半期純損失は3百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは電力業界全体として開発量の減少傾向が継続しているため担当機能の拡大を図ることで改善に努めましたが、海外システム案件の受注単価の下落もあり、売上高は前年を下回りました。発電所制御装置のミドルウェア開発や環境運用計算機の開発等は横ばいで推移しました。

自動車の制御システムは次世代向け自動車の電動化システムの開発などが堅調に推移しました。しかし、一部車載情報システム関連は開発内容が従来の制御システムから組込システムに変わってきました。その結果、自動車のシステム開発全体としては、売上高が前年同期を下回ることになりました。

この結果、売上高は203百万円（前年同期比21.0%減）、セグメント利益は35百万円（前年同期比39.7%減）となりました。

(交通システム)

交通システムでは、北海道および北陸新幹線の延伸のシステム開発については横ばいで推移したものの、その他の新幹線はシステム開発のサイクルが一巡し、さらに在来線の運行管理システムも開発案件が減少傾向にあり、売上高は前年を大幅に下回りました。東京圏の次期システムの不具合対応や北海道新幹線延伸で不採算が発生し、利益も減少しました。

この結果、売上高は52百万円（前年同期比56.5%減）、セグメント損失は25百万円（前年同期14百万円の利益）となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、前期に危機管理分野の大型システム開発が終了したため、空間情報や環境資源に関わるシステム開発を新たに受託しましたが、上流設計フェーズなどのため当第1四半期連結累計期間では規模の拡大には至っておりません。その他の危機管理分野は、概ね横ばいで推移しました。

この結果、売上高は109百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益は17百万円（前年同期比45.8%減）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、スマートフォンのプラットフォーム開発は開発量に山谷があるものの、売上高は概ね横ばいで推移しましたが、アイドルなどが減少したことにより利益は大幅に増加しました。

車載情報システムの開発は、従来からの案件が堅調に推移し、新たな海外案件を受託したことなどで、大幅に売上高が増加しました。また、ストレージデバイスの組込システム開発は横ばいで推移し、新たに半導体生産管理のシステム開発を受託しました。

この結果、売上高は257百万円（前年同期比60.5%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期比59.4%増）となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、公共向けにおいては、非接触ICカードシステムの開発で減少傾向にあるものの、新たな官公庁向けシステム開発を受託したことや、駅務機器やETCなどのシステム開発が好調に推移することなどで、売上高は増加いたしました。また、産業向けは、スポーツ関連のシステム開発を中心に、好調に推移しました。

この結果、売上高は253百万円（前年同期比38.0%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は顧客の商品開発の減少やオフショア化により減少傾向にあります。このため、引合が多い構築業務にシフトを図っておりますが、技術教育を目的としたオーバーアサインや受注単価低減などで、売上高、利益とも前年を下回りました。また、保守・運用業務は会計システムが好調に推移し、その他は概ね横ばいに推移しました。

この結果、売上高は218百万円（前年同期比12.3%減）、セグメント利益は40百万円（前年同期比11.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて438百万円減少して、8,701百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて350百万円減少して、655百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等が減少したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて87百万円減少して、8,046百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が減少したことによります。

この結果、自己資本比率は、92.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成25年7月8日公表の平成26年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,046,936	2,437,820
受取手形及び売掛金	1,842,682	1,371,459
有価証券	1,503,257	2,007,282
仕掛品	90,651	202,883
原材料	562	562
繰延税金資産	213,780	210,071
その他	60,240	90,292
流動資産合計	6,758,110	6,320,371
固定資産		
有形固定資産	236,389	231,909
無形固定資産	31,279	27,540
投資その他の資産		
投資有価証券	1,857,264	1,853,428
その他	256,864	268,513
投資その他の資産合計	2,114,128	2,121,941
固定資産合計	2,381,797	2,381,392
資産合計	9,139,908	8,701,763

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,348	41,987
未払法人税等	226,286	7,156
賞与引当金	427,879	159,900
その他の引当金	17,929	28,155
資産除去債務	6,071	6,071
その他	223,559	352,140
流動負債合計	948,074	595,412
固定負債		
引当金	54,952	57,076
その他	3,008	2,844
固定負債合計	57,960	59,921
負債合計	1,006,035	655,333
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,490,666	4,403,881
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,128,675	8,041,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,197	4,539
その他の包括利益累計額合計	5,197	4,539
純資産合計	8,133,872	8,046,430
負債純資産合計	9,139,908	8,701,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	1,104,724	1,095,269
売上原価	914,310	927,786
売上総利益	190,414	167,482
販売費及び一般管理費	203,676	174,766
営業損失(△)	△13,261	△7,283
営業外収益		
受取利息	6,741	7,008
その他	3,007	2,993
営業外収益合計	9,748	10,002
営業外費用		
その他	84	355
営業外費用合計	84	355
経常利益又は経常損失(△)	△3,597	2,363
特別損失		
固定資産除却損	408	0
特別損失合計	408	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,006	2,363
法人税、住民税及び事業税	2,962	2,062
法人税等調整額	△2,358	3,909
法人税等合計	604	5,972
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,610	△3,608
四半期純損失(△)	△4,610	△3,608

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,610	△3,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	346	△657
その他の包括利益合計	346	△657
四半期包括利益	△4,263	△4,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,263	△4,265
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	257,908	120,573	132,868	160,522	183,531	249,320	1,104,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	257,908	120,573	132,868	160,522	183,531	249,320	1,104,724
セグメント利益又は損失(△)	58,590	14,823	32,570	8,765	42,895	45,676	203,321

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,104,724
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,104,724
セグメント利益又は損失(△)	△216,582	△13,261

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△216,582千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△203,676千円及びその他△12,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	203,861	52,479	109,250	257,673	253,265	218,737	1,095,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	203,861	52,479	109,250	257,673	253,265	218,737	1,095,269
セグメント利益又は損失(△)	35,344	△25,531	17,641	61,129	57,996	40,422	187,002

(単位：千円)

	調整額 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
売上高		
外部顧客への売上高	—	1,095,269
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	1,095,269
セグメント利益又は損失(△)	△194,286	△7,283

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△194,286千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,766千円及びその他△19,519千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	168,517	△15.5
交通システム	78,011	△26.2
特定情報システム	91,609	△8.7
組込システム	196,544	+29.5
産業・公共システム	195,269	+38.8
ITサービス	178,315	△12.4
合計	908,267	+0.8

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	134,747	△34.5	83,282	△35.4
交通システム	204,386	+23.5	192,993	△24.2
特定情報システム	166,254	△29.9	162,672	△31.9
組込システム	236,243	+104.9	107,822	+45.6
産業・公共システム	249,563	△5.9	197,158	+5.2
ITサービス	199,455	△18.7	102,592	△24.5
合計	1,190,650	△3.5	846,520	△17.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	203,861	△21.0
交通システム	52,479	△56.5
特定情報システム	109,250	△17.8
組込システム	257,673	+60.5
産業・公共システム	253,265	+38.0
ITサービス	218,737	△12.3
合計	1,095,269	△0.9

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	323,433	29.3	228,524	20.9
株式会社東芝	—	—	147,079	13.4
日立オートモティブシステムズ株式会社	126,720	11.5	135,602	12.4

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 前第1四半期連結累計期間における株式会社東芝に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。